

不登校未然防止のための 授業改善パンフレット

「不登校児童・生徒への支援に関する研究」

—不登校が生じない魅力ある学校づくりを目指した授業改善を通して—

研究の概要

東京都教育委員会による「令和6年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」では、不登校児童・生徒数が依然として多い現状が報告されています。本研究では、このような状況を改善する知見を得るために、学校の授業改善に着目して研究を進めました。学校生活において、児童・生徒が最も多くの時間を過ごすのは授業です。授業改善を通して、学校が「楽しい」「安心できる」とより一層感じられる場所になることで、不登校の未然防止*₁に寄与できるのではないかと考えました。

令和6年3月に東京都教育委員会が策定した「東京都教育ビジョン（第5次）」には、施策の評価・改善で重視することの一つに「子供の声」を挙げ、巻末には「どんな学び方だと、内容が理解しやすいと思うか。」など対話による子供たちへの聴き取りの結果が示されています。本研究でも、同ビジョンで示された方針を踏まえ、授業改善に関する新たな視点を見いだすために、「子供の声」を最大限に重視した研究方法を模索しました。

そこで、主に小・中学校での不登校等の経験があり、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見付け、それに向かってチャレンジする都立高校チャレンジスクールに在籍している生徒及び教員の声を収集・分析し、その声を基に、「不登校が生じない魅力ある学校の6要素」（以下「魅力6要素」という。）を抽出し、授業改善に取り入れました。さらに、児童・生徒の学級集団に対する認識を捉える尺度「学級風土調査」を年3回実施し、授業改善の成果を検証しました（図1）。

* 1：「児童・生徒を支援するためのガイドブック」（東京都教育委員会、平成30年）では、「学校における支援の三つの段階」として未然防止を「全ての児童・生徒への支援」の段階であると説明している。本研究も、この定義に基づき研究を進めた。

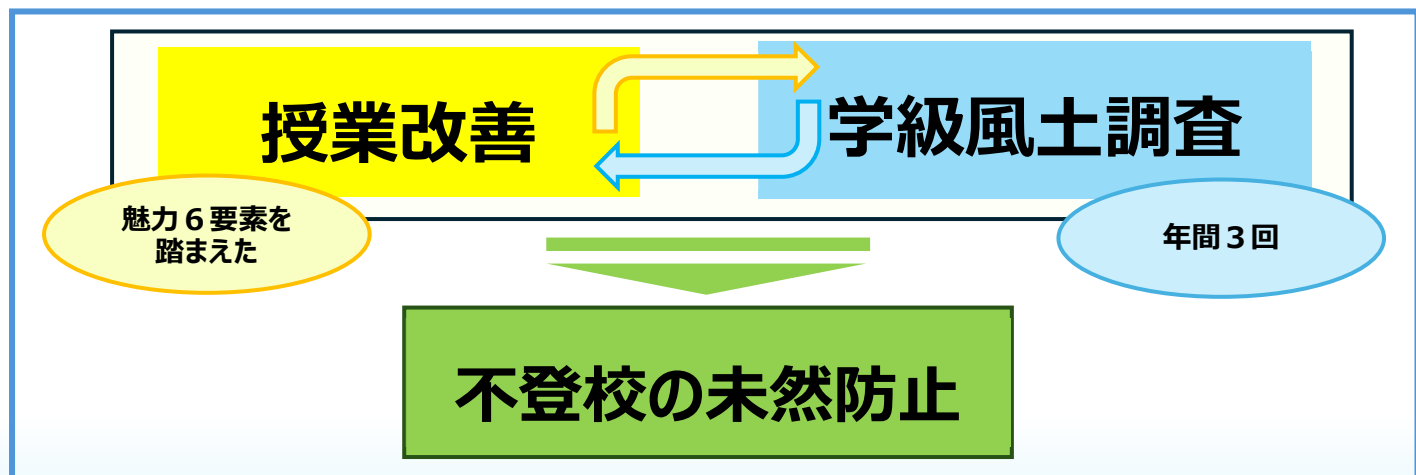


図1 本研究と不登校未然防止のつながり

不登校が生じない魅力ある学校の6要素

「魅力6要素」

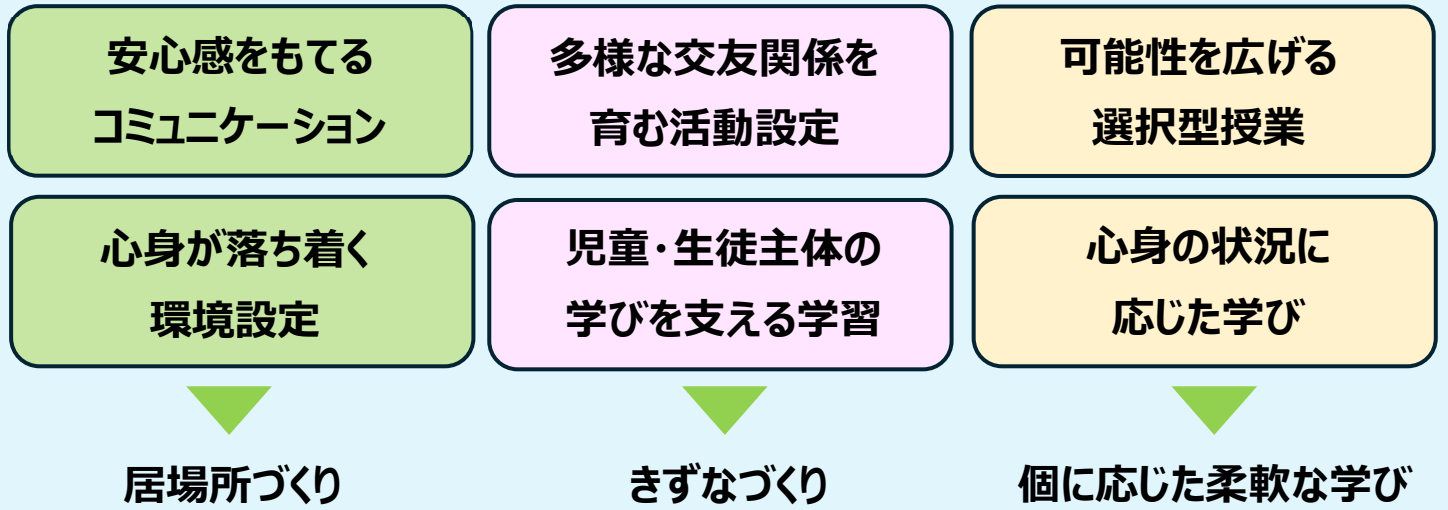


図2 「魅力6要素」の分類

本研究では、「魅力6要素」を図2のように整理しました。これらの要素は、児童・生徒が安心して学べる環境を築くための重要な視点です。

図の左は、教員のコミュニケーションを通じて、児童・生徒が安心できる「居場所づくり」、図の中央は、児童・生徒同士の有機的な関わりを促し互いに支え合う「きずなづくり」、そして、図の右は、児童・生徒の心身の状態や学習進度など「個に応じた柔軟な学び」とし、それぞれ2要素に整理しました。

以下に、これらの「魅力6要素」を授業改善に生かすための手だて案を示します。

【「魅力6要素」に基づいた具体的な手だての案】

① 安心感をもてるコミュニケーション	③ 多様な交友関係を育む活動設定	⑤ 可能性を広げる選択型授業
[個別] コーチング的関わりを意識して A : 傾聴を意識した声掛け B : 承認を意識した声掛け [全体] ファシリテーション的関わりを意識して C : 共有を意識した声掛け D : 発散を意識した声掛け E : 学校で設定	A : バズセッション (小グループで対話) B : サークル対話 (円になり集団で対話) C : ワールド・カフェ (メンバーを変えながら小グループで対話) D : ジグソー法的活動 (例) 学習内容を分担して調べ、個々の結果をグループ内で教え合う等 E : デジタル等を活用した他者参照 F : 学校で設定	A : 基礎から学び直せる時間の設定 B : 地域・社会とつながる実践的な学習 (例) 外部人材を活用した様々な学習等 C : 学校で設定
② 心身が落ち着く環境設定	④ 児童・生徒主体の学びを支える学習	⑥ 心身の状況に応じた学び
A : 人間関係や特性に配慮した座席の配置 B : 相談できる時間の確保 C : 学びのプロセスの自己選択・自己決定 (例) 児童・生徒が学習相手、場所、方法を自己選択・自己決定する等 D : 学校で設定	A : 学習のねらいや見通しの提示 B : 児童・生徒による学習計画の設定 C : 進度や段階に応じた学習教材の提供 D : パフォーマンス課題の設定 (単元終末で既習事項を活用し取り組む課題) E : 学校で設定	A : 個別学習スペース B : カームダウンスペース C : オンデマンド授業の作成 D : オンライン授業の設定 E : 学校で設定

*ここで紹介している手だては、一例として示しているものです。

「魅力6要素」を取り入れた授業デザイン及び実践事例

「魅力6要素」を取り入れた授業をデザインする際、①から③までのステップで「授業デザインシート」を作成します。

授業デザインシート

学年や担当 () 名前 ()

ステップ①

教科	単元名	時数
体育	ハンドボール	8 時間
3 観点		
知識・技能	単元の目標	
知識・技能	ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動している。	
思考・判断・表現	自己や仲間の課題解決のために考えたことを他者に伝えている。	
主体的に学習に取り組む態度	勝敗を受け入れ、仲間の考えや取組を認めている。	

ステップ②

配慮したい学年・学級の実態 (不登校未然防止の視点から)

観察対象児童のグルーピングについて、人間関係を配慮する。

意識したい教員の言葉かけや、具体的な手だて (魅力6要素を踏まえて)

観察対象児童を中心に、「承認」を意識して声掛けを行う。



①安心感をもてるコミュニケーション	③多様な交流関係を育む活動設定	⑤可能性を広げる選択型授業
【個別】 コーチング的関わりを意識して A: 傾聴を意識した声掛け B: 承認を意識した声掛け 【全体】 フェシリテーション的関わりを意識して C: 共有を意識した声掛け D: 発散を意識した声掛け E: 学校で設定	A: バズセッション (小グループ対話) B: サークル対話 (円になり集団対話) C: ワールド・カフェ (メンバーを変えながら小グループ対話) D: ジグソー法的活動 (例) 学習内容を分担して調べ、個々の結果をグループ内で教え合う等 E: デジタル等を活用した他者参照 F: 学校で設定	A: 基礎から学び直せる時間の設定 B: 地域・社会とつながる実践的な学習 (例) 外部人材を活用した様々な学習等 C: 学校で設定
②心身が落ち着く環境設定	④児童・生徒主体の学びを支える学習	⑥心身の状況に応じた学び
A: 人間関係や特性に配慮した座席の配置 B: 相談できる時間の確保 C: 学びのプロセスの自己選択・自己決定 (例) 児童・生徒が学習相手、場所、方法を自己選択・自己決定する等 D: 学校で設定	A: 学習のねらいや見通しの提示 B: 児童・生徒による学習計画の設定 C: 進度や段階に応じた学習教材の提供 D: パフォーマンス課題の設定 (単元終末で既習事項を活用し取り組む課題) E: 学校で設定	A: 個別学習スペース B: カムダウンスペース C: オンデマンド授業の作成 D: オンライン授業の設定 E: 学校で設定

*ここで紹介している手だては、一例として示しているものです。

ステップ③ 単元の内容を書き出しましょう。

単元のゴールイメージに向かうためのステップ		魅力6要素
Oー齊 ★個協	単元を通して考えたい問い (以下、「問い」)	
A 導入	○オリエンテーション (試合動画を見て感想を交流) 【問い】 どうすれば協力して、得点につながるプレーができるのだろう。 ○ベーシックタイム (必要なスキルを教える。) ★team タイム (合計4時間)	②A ④A
B 学びの時間	<1単位時間の流れ> ・team 練習 15分 (Cap 中心に事前に練習内容を考え、実践) * 器具の準備、体操を確実に行うよう指導する。 ・確認5分 (教員が価値付けしたいことや注意点を伝える) ・練習試合 (試合間に数分の作戦会議を入れる) ・team 振り返りタイム (反省点、成長点、次回練習すべきこと等) ・共有タイム (必要に応じて、全体と個別に分けて行う) ○総当たり戦に向けて team で作成会議 ○総当たり戦 (2時間) ○【問い】に対する自身の考えをフォームアップりに記入 * デジタルを活用した他者参照	①A ①C
C まとめ振り返り		①B

【参考資料】

学習指導要領解説	指導と評価の一体化
	

【ステップ①】 教科としての単元の目標を確認する。

↓

【ステップ②】 「配慮したい児童・生徒」に着目し、手だて案を基に記入する。

↓

【ステップ③】 単元全体の内容を記入後、各学習活動に合わせた手だてを決定する。

参考資料

この二次元コードから、根拠となる資料を必要に応じて確認する。

小学校 第6学年 社会科 「武士の世の中へ」

【クラスの実態と教員の願い】

子供たちは情報機器の操作に慣れていて、また、学級活動に力を入れており、学級には対話し協働的に学ぶ土壌が育まれている。その力を生かし、より深い学びを実現したい。夢中になって学び、かつ、協働の必然性を感じる課題を作成したい。その過程で、児童が他者と協働しながら結論を導き出す学びの良さを実感できる授業をつくりたい。



授業者

【「魅力6要素」を踏まえた手だてと授業の様子】

④児童・生徒主体の学びを支える学習 D: パフォーマンス課題の設定
 単元を通じて児童が意欲的に学習できる課題として「武士の時代のニュース番組を作ろう」を設定した。児童は、自主的に保護者に取材をしたり、ニュースの構造をまとめた。教員は、歴史的事象を比較し、それに対する気付きを必ずスライドにまとめるという条件を提示し、児童が自ら社会科の学びを深めていける手だてを講じた。

個人で学習に没頭する時間



中学校 第1学年 保健体育科 「バレーボール」

【クラスの実態と教員の願い】

実技に苦手意識をもつ生徒がいるため、生徒同士が互いに励まし合い、高め合う活動を取り入れている。こうした協働的に学ぶ時間の中で、個人及びグループの技能を高めるポイントを生徒自身でつかむ力を身に付けてほしい。そして、「できた」「楽しい」との経験をグループで共有し合える授業にしたい。



授業者

【「魅力6要素」を踏まえた手だてと授業の様子】

①安心感をもてるコミュニケーション C: 共有を意識した声掛け
 レシーブ・トス・アタックの3段攻撃を展開するという単元目標に迫るために、単元導入時にグループで話し合う時間を設定した。その際、生徒の「落ちる場所を無くせばボールがつかがると思う。」という意見に対し教員は「空いた場所をどうするか本単元の中心的な課題で、素晴らしい着眼点です。」と、全体の場で技能の伸びにつながる本質的な課題を伝え、生徒の思考を促すことに努めた。

パスをつなぐ方法を考える様子



高等学校 第1学年 数学科 数学 A 「図形の性質」

【クラスの実態と教員の願い】

互いに声を掛け合い協働的に学び合う雰囲気醸成されている。この強みを生かして、生徒同士の学び合いで更に深い学びを実現していきたい。そこで、意図的・計画的にグループワークを設定し、やや難しい課題に挑戦する活動を通して、生徒全員が協働の良さと達成感を味わえる授業をつくりたい。



授業者

【「魅力6要素」を踏まえた手だてと授業の様子】

③多様な交友関係を育む活動設定 A：バズセッション F：ペアワーク（学校で設定）

本単元では、可能な限り生徒同士で意見交換ができる時間を設けた。その結果、教室を自由に行き来し対話する生徒、個人で取り組む生徒等、必要に応じて学び合う生徒の姿がこれまで以上に見られた。教員は、生徒主体の活動を設定することで、より個に応じた学びに寄り添い、生徒一人一人が自分の課題に気づき主体的に学習を進められるよう努めた。

自由に教室を移動し、
教え合う様子



研究協力校の児童・生徒、教員の声

【児童・生徒の声】

（小学校）

「自分の意見を友達と交換して話す時間が増えたので、自信がもてるようになった。」

「何をすればよいかがよく分かったので、安心して課題を考えられるようになった。」

（中学校）

「グループになって活動することが多くなった。授業を楽しいと思えることが増え、時間が早く過ぎていく感じがする。」

「先生は、目立つ人だけではなく、皆で楽しめる授業を考えてくれている。先生の授業に対する気持ちが伝わるから、自分もやる気を出すことができた。」

（高等学校）

「課題が分かりやすくなり、取り組みやすくなった。」

「分からない所があっても後で聞ける安心感があり、落ち着いた気持ちで授業を受けられた。」

【教員の声】

（小学校）

「児童が課題に向かって、声を掛け合いながら努力し、熱中して取り組む姿がとてもよかった。今後もいろいろ試したい。」

（中学校）

「教材の工夫だけでなく、生徒へ声を掛ける際の言葉選びに力を入れた。ポジティブな声掛けを意識することで、主体的に学習に取り組む生徒の姿が見られた。」

「教科に応じて、取り入れやすい要素が決まってしまう。扱う内容によって『魅力6要素』の取り入れ方を検討することが必要と考える。」

（高等学校）

「授業中に意識して声掛けを行った結果、授業後に質問や相談を受けることが増えた。」

「授業のねらいを提示して、更に一つ一つの活動の目標を明確にして生徒に問い掛けるようになった。」

教育課題研究「不登校児童・生徒への支援に関する研究」協力校

【令和6年度】

- ・都立六本木高等学校
- ・都立世田谷泉高等学校
- ・都立桐ヶ丘高等学校
- ・都立大江戸高等学校
- ・都立稔ヶ丘高等学校
- ・都立小台橋高等学校

【令和7年度】

- ・大田区立矢口東小学校
- ・大田区立大森第八中学校
- ・都立葛西南高等学校
- ・国立市立国立第五小学校
- ・国立市立国立第二中学校
- ・都立八王子北高等学校

不登校未然防止のための授業改善パンフレット

発行年：令和8年3月 編集・発行者：東京都教職員研修センター研修部教育開発課

所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目3番3号 電話：03(5802)0319



令和7年度教育課題
研究発表会の様子は
こちらから！